

果実販売動向

販売課 米澤松太



5月の果実動向は、スイカ・メロンについては各産地好天と気温高により前進傾向となり、連休明けから本格化し、安定した入荷が続く中、価格は下げ基調で推移しました。イチゴについては、流通量が少ないことや品質懸念、また、さくらんぼ、マンゴー、ぶどう等の施設物についても、ギフト需要から堅調な販売となりましたが、

一般量販店においては流通量の少なさや小売価格の高さから売場は拡大されず下げ基調での推移となりました。バナナ、キウイ、柑橘類、アメリカンチェリー等の輸入物については、売相場が拡大され、メイン商材となっております。

リンゴについては全般に産地在庫が少なく、サンふじは4月末まででほぼ終了となり、連休明け以降は有袋ふじへの切り替えが進みました。売場も冷蔵ケースへ移行されたことにより縮小傾向となりましたが、企画の中心となっており40・46玉は高値基調での販売と

なりました。反面、単価高となる大玉果やジョナゴールド、シナノゴールドについては売り場が限られている中潤沢な入荷が続いたことから弱含みでの推移となりました。輸入リンゴについてはNZ産が5月1、088トン（前年比169%）の実績となり、袋詰めを中心に企画されています。

今後、スイカ・メロンについては引続き安定した入荷となり、消費地の気温上昇に伴い売り場は拡大される見込みです。また、さくらんぼ・桃等についても生育が順調に推移し、前進出荷傾向で潤沢な入荷が見込まれることから、夏果実主体の売り場構成となる見込みです。リンゴの産地・流通在庫は少ないものの、黒星病の多発や消費地の気温上昇に伴う品質懸念と競合果実が豊作傾向であることからリンゴの売り場はさらに縮小される見込みです。品質管理の徹底により売り場の維持を図ります。

（この欄は上記の逆順で記載されています）

別 表

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	む つ	その他	計
単 価 (円)	2,962	4,117	2,716	3,450	4,876	2,794	2,917
前 年 比 (%)	108	117	102	113	102	92	104
在庫数量 (トン)	576	11,172	551	6,102	158	1,568	20,127
前 年 比 (%)	200	58	22	64	67	80	60

単価は全農青森データ（5/31累計）、在庫数量は県りんご果樹果作成（5月末）

TAKESHI-KUN

アームカバー

竹糸(たけし)くん ¥450 (税込)

カラー：ブラック・ホワイト・ブルー etc

ひんやり気持ちイイ竹由来のレーヨン糸を使用して作った作業快適グッズ。熱伝導率が高く、吸水性・放湿性に優れているほか、汗の拡散・蒸発を促進します。



購買課
 今月のオススメ
 商品